

止マ命シテ後九時三十分至事間有シタルカ  
衆ハ始テ工場職工ニシテ右青威新ヲ興ハシ  
様様ナリキ(増設要旨大同十異、付者略)

二月十日ノ情况  
一、倉庫側ノ急留

倉庫側ニ在リテ残留職工、動搖ヲ防止セシムル  
前々時ノ交替時ニ甲乙部ノ在職工ヲ食費ニ集  
メヤ京社長アリ布リテ休業シ尚十日迄夜業ヲ  
休ムル者ヲ告テ続テシテ、際流石ニ在リテ食料ニ  
計シテ希望要件ヲ示シ、腹花ナリ急見ヲ吐露シ  
ニシテ取遣メテ本月中ニ社長ノ手許迄申出シテ夜  
職工、緩和策ヲ講ズト一方最初ノ手擧ニ弟友加  
ニ職工、計シ何時ニラニ於テ、又拂逆ニ解雇手高

トシテ日給十四百分(最高三千百最低十百四十分)ヲ給與  
スルノ準備ヲ整ヘ居ル)

ニ残留職工ニ懸テ

職工側ハ午前中不即指揚ノ掃除ヲ行ヒタル後  
午後一時アリ余カ、集金義、社長ヨリ甲乙度シテ  
希望条件ニ付種々協議ヲ遂ケタルニ、環論  
多岐ニ付シ容易ニ決定ノ望ニ至ラザリシ以テ各  
部代表委員負テ退出スルコトナリ其ノ結果田立時  
常谷口市平五石屋原保田巨次郎外五名ヲ帶  
テ一、倉庫側ノ内意ヲ知得シ居ル井村職工側  
主任、水原、寿彦ノ兩製造部主任ノ三名外、加  
シ鳩首協議ノ結果、手取ノ要求スルコト、協  
定ニシタルヲ以テ之ヲ一撤職ニ決シタルカ、該案ハ